

# 「川越市地域防災計画」一部修正（案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の結果報告

- 意見募集の期間  
令和2年1月27日（月）～令和2年2月26日（水）
- 市民への周知方法  
広報川越（1月25日号）及び川越市ホームページへ意見募集の記事を掲載しました。
- 「川越市地域防災計画」一部修正（案）の公表  
川越市ホームページ、防災危機管理室（市役所本庁舎4階）、各市民センター及び南連絡所へ設置しました。
- 「川越市地域防災計画」一部修正（案）に対する、意見の概要及び市の考え方については、下記のとおりです。

## 記

応募者数：2名 意見数：8件

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
1- ①	<p>&lt;全体への意見&gt;</p> <p>「使用済簡易トイレ袋の捨て方を明記して下さい」</p> <p>災害発生時、地域の住人全てが避難所に入れる訳ではありません。在宅／自動車内での避難となりトイレ問題がすぐ始まります。</p> <p>例えば、同計画（案）の別のケースの捨て方を見ると、火山灰の場合、どの様に行うかの確に明記されています。同様に簡易トイレの訓練時と本当の災害発生時の捨て方を“火山灰”の様子に明記して下さい。</p>	<p>災害時における使用済簡易トイレ袋を含む一般廃棄物の処理については、適正処理できるよう分別することとし、適切な広報により、市民に分別排出を呼び掛けることとしております。</p> <p>&lt;記載箇所&gt;</p> <p>本編(2-329～2-330)</p> <p>第5 廃棄物対策</p> <p>なお、訓練時においては、通常の周知されているごみ分別方法により、適切に処理されるべきものと考えております。</p>
1- ②	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>「ラジオ放送で気象情報をレベル表現してほしい」</p> <p>2019年台風15号／台風19号及び2020年1月28日の低気圧通過で気の付いた事</p> <p>私は災害の情報をラジオで収集しますが表題の3ケースだけでもレベル表</p>	<p>5段階の警戒レベルについては、市町村が発令する「避難情報」と国土交通省、気象庁、都道府県が発表する「防災気象情報」があります。ラジオを含むマスメディアにおいて、気象情報は警戒レベル相当情報として発表されております。</p> <p>なお、各種の情報は、警戒レベル1～5の順</p>

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
	<p>現で放送されていませんでした。放送する側では行政の決定が無いとレベル表現で放送できない様子で（レベル4相当の…）等の言い方が気象庁発令を使っています。</p> <p>近隣の県の気象情報のレベル変化が分からないと災害が近付いて来るのか、遠ざかるかが分からない。</p> <p>又、台風19号では川越で大雨特別警報がいきなり発令され、対象地域が北部/秩父であったのが分かるのに40分くらい後でした。</p> <p>①レベル表現をもっと進めてください。 ②低いレベルから発表があれば対応できますが今回の様にいきなりレベル5の発表では困るので、対応方法を示して下さい。</p>	<p>番で発表されるとは限らず、状況により急変することもありますので、避難情報等に応じて適切な避難行動をとれることが重要であると考えます。</p>
<p>1- ③</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>洪水ハザードマップ H22.3月版 新河岸川面</p> <p>※2日間で332.6mm→現状に合わせたほうが良い</p> <p>※ラジオ周波数→FMも追記して下さい</p> <p>◎気象情報の地域の呼び名が（北部、南部、秩父地方）ぜひ必要なので改版して載せ続けて下さい。</p> <p>荒川・入間川面</p> <p>※3日間で548mm→現状に合わせたほうが良い</p> <p>※避難情報は上に行くほどレベルが高くなるほうが良いのではないかと。（更にレベル表記追加）</p> <p>現状は最下段が“避難指示”になっている。</p> <p>※越辺の周辺が広く見える様にレイアウト出来ないか。（寺尾越・越辺等周辺が分かりにくい）</p>	<p>洪水ハザードマップについては、水害ハザードマップとして、平成30年12月に内容を改訂しております。表記方法等については、ハザードマップ改訂の際の参考とさせていただきます。</p>
<p>1- ④</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>地震ハザードマップ 地図面</p> <p>※メッシュが狭すぎるので細かい所が分</p>	<p>地震ハザードマップ改訂の際の参考とさせていただきます。</p>

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
	<p>かりにくい。(拡大できないか)</p> <p>※隣接した市に避難しようとした場合、川越行政区の外側も見える様にしてほしい。</p> <p>※避難所に「水」マークが付いているのは良いが井戸を利用できる所も追記して下さい。</p> <p><b>コメント面</b></p> <p>(右下ラジオ局部分)</p> <p>※将来的にAMが縮小して行くのでFM周波数を追記して下さい。</p> <p>※地震火災を想定して119番通報の手順を追記したほうが良くはないか。</p> <p>(紙上の通報訓練として消火とレスキュー依頼)</p>	
<p>1-</p> <p>⑤</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>内水ハザードマップ H30.6月版</p> <p><b>地図面</b></p> <p>※時間最大雨量72.5mm/h→現状に合わせて下さい。</p> <p>※避難所リストに「水」マークと「井戸」マークがほしい。</p> <p>※川越行政区の外も見える様にしてほしい。</p> <p><b>コメント面</b></p> <p>※避難情報で“避難指示”を上位にしたほうが直感的に分かり易いのではないか。(更にレベル追加)</p> <p>※災害気象情報で“大雨特別警報”を上位にしたほうが良いのではないか(更にレベル追加)</p> <p>◎家庭で出来る浸水対策2で“水のう”が大変分かり易く、実施しています。</p>	<p>内水ハザードマップ改訂の際の参考とさせていただきます。</p>
<p>1-</p> <p>⑥</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>水害ハザードマップ(冊子版) H30年12月版</p> <p><b>3P</b></p> <p>※気象情報は“大雨特別警報”を最上位にしたほうが良いのではないか(更にレベル</p>	<p>水害ハザードマップ改訂の際の参考とさせていただきます。</p>

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
	<p>追加)</p> <p>4P ※避難情報で“避難指示”を最上位にしたほうが良いのではないか（更にレベル追加)</p> <p>6P ※マイタイムラインで“レベル5”を最上位にしたほうが良く、色も他のマップと同じく統一した方が良い。</p> <p>7P～（荒川・入間川） ※3日間 632 mm / 3日間 740 mm → 現状に合わせたほうが良い。 ※水深目安が似た色調で分かりにくい。</p> <p>21P（新河岸川） ※2日間 332.6 mm → ・日数を他と同じにならないか。 ・雨量は現状に合わせたほうが良い。</p> <p>57P ※土砂災害の説明が分かり易い。（避難ルートを2ルート表記して下さい）</p> <p>60P ※避難所に「水」マークと「井戸」マークがほしい。</p> <p>61P ※家庭でできる浸水対策が分かり易く、実行し易く良い。</p>	
<p>2-</p> <p>①</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>地震の震度について</p> <p>川越市では、市立川越高校・市役所・新宿町？設置の震度計で観測し、その平均を市民にメールしていると聞きました。その都度メールしてくださるのは感謝しています。ただ、我が家は川越市の軟弱地盤地域に建っています。同一地震でTV速報やNHK 防災メールと、川越市メールとかけ離れすぎていると思います。</p> <p>「最大震度」と「震度」の明確な違いはわかりませんが、我が家の体感震度はYahoo</p>	<p>気象庁が発表する川越市の震度については、市立川越高校（旭町）と新宿町地内に設置の震度計で観測した震度のうち、高い方の震度となっております。</p> <p>また、「最大震度」と「震度」の違いについては、当該地震のうち最大震度を観測した地点の震度が「最大震度」として発表されており、他の各地点の「震度」とは異なるものです。川越市気象情報メールにつきましては、本市で観測された「震度」を配信しております。</p> <p>なお、震度計の設置や震度発表の運用については、気象庁の所管であるため、参考意見とさせていただきます。</p>

No	意見の内容	意見に対する市の考え方
	<p>やNHK 発表が近いと感じます。</p> <p>川越市には台地地盤と軟弱地盤があるのですから、今後は軟弱地盤地域にも震度計の設置をお願いします。そして震度〇と出さないで「最大震度」を使用することや「台地地域震度〇 軟弱地域震度〇」などと分けて公表してください。</p>	<p>いただきます。</p>
<p>2-</p> <p>②</p>	<p>&lt;防災対策全般への意見&gt;</p> <p>② 昨年の台風 19 号豪雨時には川越市等の防災メールは頻繁に届きました。我が家は西・北・東に入間川、さらに東に荒川、南は新河岸川に囲まれ、南の川越小学校方面に避難するには新河岸川を渡る低地です。</p> <p>警戒レベル 4 で「公的な避難場所までの移動が危険と思われる場所」なので、「自宅のより安全な場所に避難」＝「垂直避難」するつもりですが、「近くの安全な場所」として「公的な垂直避難場所」をこの地域にも設置してください。</p>	<p>令和元年東日本台風では、避難勧告等の発令対象地区が広域にわたり、浸水想定区域外へ避難するには距離があるなどの課題がありました。</p> <p>このため、市では、現在指定している避難所に加え、水害時においてより身近で緊急的な避難ができる場所の確保も含め、避難場所の在り方について見直しを行っているところです。</p>

以上